

## 1. 活動テーマ

### <テーマ>

|                                   |     |                  |    |     |
|-----------------------------------|-----|------------------|----|-----|
| 年間テーマ：自然<br>あおむしからアゲハ蝶への成長を観察しよう！ | 園名  | ヒューマンアカデミー蒲田保育園  |    |     |
|                                   | クラス | 幼児組<br>(3歳児～5歳児) | 人数 | 14名 |

### <テーマ設定理由>

テラスで季節の野菜栽培をしたり（ミニトマト、オクラ、ねぎ、さつまいも、すいか等）、自然豊かな公園が周囲にあるため、日常的に自然に触れています。また、身体全体で自然を感じられる体験活動を保育に取り入れているところが自園の強みであります。

日頃から虫や植物の成長（生長）に関心を持っている児が多いため、「自然」をテーマとして設定。都会の中でどれくらい自然を身近に感じることができるのか。また、季節の移り変わりによる環境への変化を発見し、子ども達の興味関心を深めていく。また、戸外活動だけでなく制作や絵画にもつなげることで探究の幅をひろげていく。

## 2. 活動スケジュール

【年間スケジュール】：2025年4月～2026年2月

【今回の活動スケジュール】 2025年4月～2025年8月

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・虫かご ・生花用吸水スポンジ ・レモンやミカンの葉
- ・虫眼鏡 ・割りばし ・小枝 ・ペーパータオル

○虫かごの中の掃除を園児たちと一緒に行う。

○生花用吸水スポンジが乾かないように定期的に水を含ませる。

○レモンやミカンの葉を餌として用意し、定期的に新しい葉に交換する

○清潔に保つことの大切さに気付けるような声かけを意識した。

## 4. 探究活動の実践

### <活動内容>

- ・「しぜん（ちょう）」の絵本にある幼虫の成長ページを基に、どのように変化していくか確認する
- ・幼児クラスに虫かごを置いておき、いつでも自由に観察できるようにした
- ・虫眼鏡を使ってじっくりと観察できるようにした
- ・成長するにつれて虫かごを大きくし、観察しやすいようにした
- ・蛹に変身したら虫かごを分け、比較しやすいようにした
- ・蝶に大変身した後は外に逃がしてあげ、羽ばたく様子を観察した

## <活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

### 【今回の問いの理由】

- ・テラスで育てているレモン苗にアゲハ蝶の卵があることを園長が発見する
- ・「しぜん」という絵本であおむしの成長について興味を持っている児が多数いるため、虫かごで育ててどのように変身していくか観察することとした



### 【子どもの姿・声】

- ・「しぜん」の絵本に載っている写真と見比べながら、「今はここかな？」と1 幼幼虫～5 幼幼虫のどの段階かを見比べていた。
- ・葉っぱを食べる様子を観察していると、「あおむしさんは端っこから食べるんだね」と気付く声が上がった。
- ・脱皮をするたびに身体が大きくなっていき、「また大きくなった！」と変化に気付く声があった。
- ・「たくさん食べて大きくなってね」と温かく見守る姿があった。
- ・緑色になった幼虫は食べる量が増え、葉っぱが芯まで全てなくなってしまうことに気が付いた。
- ・毎日虫かごの掃除を行い「お部屋がきれいになって気持ちいいね」と清潔感について触れる声が上がっていた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た保育士の気づき>

- ・卵→幼虫→蛹→蝶とたくさんの段階を経て成長していく姿を見ることができ、生命の不思議に触れることができた。
- ・虫が苦手な児も虫かご越しに覗いたり、虫眼鏡でじっくり観察する姿があり、興味に繋がるきっかけとなった。
- ・最後は自然に離してあげることにより、命の大切さに触れることができた。

## 1. 活動テーマ

### <テーマ>

|                               |     |                 |    |     |
|-------------------------------|-----|-----------------|----|-----|
| 年間テーマ：自然<br>戸外に出て自然を観察し発見して描く | 園名  | ヒューマンアカデミー蒲田保育園 |    |     |
|                               | クラス | 幼児組<br>(3歳～5歳)  | 人数 | 14名 |

### <テーマ設定理由>

#### 【今回の問いの理由】

- ・園であおむしを育てることになり「しぜん」という絵本であおむしについて調べていたところ、実際に戸外で飛んでいる蝶々を見たいという声があがる。
- ・蝶々だけでなく戸外にはどんな自然があるかを観察し描いてみることにした。

## 2. 活動スケジュール

【年間スケジュール】 2025年4月～2026年2月

【今回の活動スケジュール】 2025年6月～2025年10月

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・クレヨン
- ・自由画帳
- ・自然が見つけれられる公園
- 帰園後は戸外で見つけた「しぜん」について図鑑で調べる。
- 自分で見つけて描いた「しぜん」を知り、興味をもてるようにする。

## 4. 探究活動の実践

### <活動内容>

クレヨンと自由画帳を持って近くの公園や園内で自然を観察しながらデッサンをする。

- ・クレヨン、自由画帳を持ち戸外へ行く。
- ・公園では探索をしながらどんな「しぜん」があるかを観察する。
- ・自分で見つけた自然（蝶々、アリ、草花など）をよく観察し自由画帳に描く。
- ・様々な自然があることを発見する。

## <活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

### 【子どもの姿・声】

・自分のリュックに自由画帳とクレヨンを入れて公園へ出かけることでリュックを背負っての普段とは違う散歩に子どもたちは期待感をもつ。

・デッサンのテーマを【自然】にし公園内を探索し自然を探しつつ自分で描くものを決めて、たんぼぼ、アリなどの観察をした後は実物をよく見ながら夢中で描いていた。

・飛んでいる蝶々を見つけると「蝶々が飛んでる！」「保育園のあおむしも大きくなったら飛んで行くね」等の発言があった。

・「アリが餌を運んでいるよ」と気がつき他の児にも教えており、みんなで観察をする。

・「こっちはたんぼぼがある」「アリがいた」等の発言をし自分で見つけた自然を子ども同士で知らせる。

・保育者はさりげなく「どんな色かな？」「形はどうかかな？」等の声かけをし、子どもたちが見て形や色にも注目し違いに気がつき捉えられるようにした。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た保育士の気づき>

他の「しぜん」にも興味をもち自分たちで調べようとする力が身に付いてきた。

- ・自分たちで調べることにより「そうなんだ、もっと知りたい!」との気持ちに繋がり、生き物への興味・関心がさらに深まった。
- ・戸外で飛んでいる蝶々を見に行くことで、園にいる幼虫を大事に育て蝶々に成長さ羽ばたかせることを楽しみに「大切にしたい」という愛着の気持ちが芽生えたように感じた。
- ・戸外にある自然（虫、草花など）を描くためによく観察することで、どんな自然にも命があることに気づき【命の大切さ】を知り考えることができた。

1. 活動テーマ

<テーマ>

|                     |     |                  |    |     |
|---------------------|-----|------------------|----|-----|
| 年間テーマ：自然<br>虫の身体の観察 | 園名  | ヒューマンアカデミー蒲田保育園  |    |     |
|                     | クラス | 幼児組<br>(3歳児～5歳児) | 人数 | 14名 |

<テーマ設定理由>

【今回の問いの理由】

- ・これまで戸外や飼育で触れてきた虫などの身体づくりに興味をもっていたため図鑑や標本を見て観察する。
- ・興味をもったことや発見したことを自由に描き探究を深める

2. 活動スケジュール

【年間スケジュール】 2025年4月～2026年2月  
【今回の活動スケジュール】 2025年10月～2026年1月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・虫の標本（アオスジアゲハ、モンシロチョウ、クワガタ、クモ、バッタ、トンボ）
- ・図鑑 ・虫眼鏡 ・クレヨン ・画用紙

○細かい部分までじっくりと観察できるよう、虫眼鏡を自由に使えるよう置いておいた。  
○気になったことは、すぐに図鑑で調べられるようにした。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・色々な虫の標本を、虫眼鏡を使いながら観察し、興味を持っていく。
- ・興味を持った虫をより深く観察し、色々発見したり、特徴に気付いたりする。
- ・発見したり、気付いたことを確認したり、疑問に思ったことを図鑑で調べていく。
- ・標本を見ながら、画用紙に絵を描く。
- ・描いた絵を見せながら、“何の虫を観察したのか？” “どんな発見があったのか？” “などを発表し合い、虫への興味を深める。

<活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育者との関わり>

【子どもの姿・声】

- ・「木に登るために足がギザギザなんだよ。」など、自分の知っていることを他の児に教える姿があった。
- ・友だちと一緒に観察し、足の数を数えたり、「見て！」と、自分が発見したことを伝え合ったりしていた。
- ・「ここは茶色だけど、こっちは少し黒っぽい。」など、気になったことを言葉に出しながら観察していた。
- ・別の虫も観察したいとの発言があり、様々な種類の虫に興味を持っていた。
- ・「この中の虫は生きてるのかな？」と、不思議そうに眺める様子もあった。
- ・「ちょっと調べてみよう。」と、自分達から積極的に図鑑で調べていた。
- ・絵を描き始めると、「ここはこうなってたんだ。」「この色かな？」と、自分で考え、どんどんと描き進んでいた。
- ・発表では、それぞれが自分の気になった点、発見したことを、発表できた。また、それを聞き、「そうだったんだ。」など、自分が気付いていなかった点があった時には、驚く様子もあった。
- ・保育者は、声を掛けすぎず、必要に応じて「何か発見した？」「どんな色をしていた？」などの声掛けをし、できるだけ子どもの発言を聞くようにしていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

- ・これまでに、あおむしの飼育をしたり、自然を観察したりなどの活動を経験してきているため、観察し、興味を持つ。そして疑問があれば調べてみる。という力が身に付いていると思った。
- ・描いているものを互いに見ることで気づきが深まる様子がみられた。
- ・標本というものを知り、“命の大切さ”ということについて、考える機会にもつながった。

## 1. 活動テーマ

### <テーマ>

|                           |     |                  |    |     |
|---------------------------|-----|------------------|----|-----|
| 年間テーマ：自然<br>自然の素材を生かしたアート | 園名  | ヒューマンアカデミー 蒲田保育園 |    |     |
|                           | クラス | 幼児組<br>(3歳～5歳)   | 人数 | 14名 |

### <テーマ設定理由>

テーマの「自然」を身近なところから取り入れていき、手触りや匂い・色等をじっくりと感じて、遊びを「作りだす」時間をつくることにより自由な発想を広げ探究する

## 2. 活動スケジュール

【年間スケジュール】 2025年4月～2026年2月  
【今回の活動スケジュール】 2025年12月～2026年2月

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

用意した素材：桜の落葉、玉ねぎの皮、さらし布、ミョウバン、豆乳（下準備用）、ヤマト糊、割ばし、筆、輪ゴム、麻紐、紙コップ、画用紙、コピー用紙などの薄紙、模造紙、クレヨン、絵具、すりこぎ棒、テープ類、毛糸、でんぷん糊、割ばし、紙コップ、図鑑、画用紙（白・黒）、クレヨン、りんご、たまねぎ、人参など

## 4. 探究活動の実践

### <活動内容>

- ①葉っぱを観察、触れる、どんな音がするか、匂い、葉っぱで遊ぶ
- ②葉っぱや玉ねぎの皮で染める・塗る。布で遊ぶ。
- ③枝や幹、葉っぱ、石などを紙とクレヨンで写す、形をとる
- ④想像して描く、描いている様子を見る、本物をよく見て描く
- ⑤参加型のアートイベントを鑑賞し、一年間の行事や自然素材を使った技法や遊びを知る



1月：冬のインсталレーションアート活動  
部屋を装飾して想像力を高める

## <活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

### 『葉っぱで遊びをみつけよう』

- ① 「落ち葉」に関連した本で読み聞かせ  
「イチヨウのかけ合いっこ」「ごろごろしてた」
- ② 落ち葉の匂い・手触りは、「くさい」「草の匂い」「土の匂い」など匂いを感じてから「パリパリ」など落ち葉をグシャツとしてみたり、「ペリペリだよ」と破いてみたりした。
- ③ 葉っぱの違いでは、「おおきい」「赤色きれい」など大きさや色の違いだけでなく、手で触ると足の裏で踏む違いに気付いた
- ④ 落ち葉のシャワーを浴びる。「めがねつくる」「ようせいさん」など落ち葉を使って遊びを見つけていく姿が見られた。



### 『自然物で「染める・塗る」「布で遊ぶ』』

- ① さらしを見せると「紙?」「かたい」「さらし布ってなに?」と問いかける。布を投げてキャッチしたり折り紙のように折る
- ② 縛って布を水に浸して洗い、麻紐や輪ゴムを巻いて、布に模様をつける
- ③ 玉ねぎの染め液に糊を混ぜて筆で塗る「ねこ描いたよ」「黄色だー、オレンジ色?」「麦茶色」「野菜のにおい」
- ④ 布を浸すと色がついたのを見て「わー、黄色になったね」「実験みたい」「模様できたよ」とみんなで見せ合った。



### 『「写して」「なぞって」「押して』』

- ① みんなのカタチをなぞる
- ② 写してみよう「がたがたするね」「これはつるつるしたよ」
- ③ 押してみよう「これも塗ってみていい?」



### 『「見て」「描いて』』

- ① 想像して描く  
30秒、1分、3分と時間制限以内に描いたり、チームごとに描いたものを当てるゲームをする。  
「えのき」では「しろいよねえ、どうやって描こう?」
- ② 描いている様子を見てみよう  
クレヨンを使っている姿を子どもたちに見せる。  
「いろんな色を使うのだね」「絵の具みたい!」
- ③ 本物を描いてみよう  
本物をよく見て描く。想像で描いた「えのき」は黒だったが、見て描いたえのきには、黄色や白など他の色が使われていた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た保育士の気づき>

- ・日々の保育をアートの専門家と共にする事で、活動のバリエーションが豊かになるだけでなく、新しい視点を共有して探究が深まった。
- ・参加型アートイベントでは、四季を振り返ることができ、中でも身近な自然素材が多く使われていることに興味を持っていた。また、アート活動で取り入れた技法があったことにも気づき、自分たちの活動の広がりを知る機会になった。



2月:参加型アートイベント